

平成 21 年 4 月 17 日

各 位

会社名 株式会社 京葉銀行
代表者名 取締役頭取 小島 信夫
(コード番号 8544 東証第一部)
問合せ先 経営企画部長 熊谷 俊行
(TEL. 043-222-2121)

平成 21 年 3 月期通期の業績予想修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 10 月 6 日に公表いたしました平成 21 年 3 月期通期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想について、下記の通り修正しますのでお知らせします。

記

1. 個別業績予想の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	74,500	17,000	10,000	34 円 52 銭
今回修正予想 (B)	73,600	9,800	5,600	19 円 56 銭
増減額 (B-A)	△ 900	△ 7,200	△ 4,400	—
増減率 (%)	△ 1.2%	△ 42.3%	△ 44.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	73,881	24,420	14,117	48 円 70 銭

2. 連結業績予想の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	75,500	17,000	10,000	34 円 53 銭
今回修正予想 (B)	74,600	10,000	5,600	19 円 56 銭
増減額 (B-A)	△ 900	△ 7,000	△ 4,400	—
増減率 (%)	△ 1.1%	△ 41.1%	△ 44.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	74,435	24,216	13,728	47 円 38 銭

3. 修正の理由

(1) 個別業績予想修正の理由

平成 21 年 3 月期におきましては、貸出金残高及び預金残高はともに順調に増加しており、資金利益は前期を大幅に上回る見込みとなっております。

しかしながら、市況の悪化に伴い投資信託販売等による役務取引等収益が減収となることに加え、景気の急速な落ち込みに伴う取引先の業況悪化を踏まえ、保守的な貸倒引当金の積み増しを行うことなどから、前回発表した業績予想値を修正いたします。

(2) 連結業績予想修正の理由

個別業績予想の修正に伴うものです。

(ご参考)

平成 21 年 3 月期通期個別業績予想

(単位：億円)

	前回予想	今回予想	増減	平成20年3月期
経常収益	745	736	△ 9	738
業務粗利益	620	617	△ 3	614
(うち資金利益)	560	565	5	551
コア業務純益	270	262	△ 8	277
経常利益	170	98	△ 72	244
当期純利益	100	56	△ 44	141
与信費用	80	132	52	21
株式等関係損益	△ 3	△ 17	△ 14	8

1. 業務粗利益

貸出金残高は大企業向け、中小企業向けとも順調に増加しており、このため資金利益は前回発表予想と比較し 5 億円の増加となっております。一方で、世界的な市況悪化の影響を受け、投資信託販売等による役務取引収益が大幅な減収となることから、当期の業務粗利益は前回予想とほぼ同程度を見込んでおります。

2. 与信費用

世界規模での景気の急速な落ち込みに伴う取引先の業況悪化を踏まえ、保守的な貸倒引当金の積み増しを行うことなどから、当期の与信費用は前回予想比 52 億円増加し 132 億円を見込んでおります。このうち 123 億円が貸倒引当金の積み増しによるものです。

3. 株式等関係損益

当行はリスクの大きい仕組債や証券化商品等は保有しておりません。当期は株式等関係損失が 17 億円（減損処理 3 億円、売却損 14 億円）となる見込みですが、これはすべて国内株式によるものです。

以 上